

Monthly Report

平成28年度 仙台大学入学式を挙行



入学生代表宣誓を行う山田勇司さん（スポーツ情報マスメディア学科1年一宮城・多賀城高校出身）

4月3日（日）、本学第五体育館で「平成28年度 第50回体育学部第19回大学院入学式」が執り行なわれました。新入生622人（体育学科328人・健康福祉学科102人・運動栄養学科78人・スポーツ情報マスメディア学科50人・現代武道学科42人・編入学生4人・大学院スポーツ科学研究科18人）が、大学生活の第一歩を踏み出しました。

阿部芳吉学長は、新入生に対し「夢や目標を達成するために努力してほしい。教職員はそのためのサポートをしっかりと」と激励。続いて、朴澤泰治理事長・学事顧問が「2020年東京オリンピック・パラリンピックの主体的な担い手として活躍されることを期待している」と挨拶されました。

入学者を代表して山田勇司さん（スポーツ情報マスメディア学科1年一宮城・多賀城高校出身）が「私たちは体育・スポーツ、健康に関わる諸科学を探究し、これからの時代の担い手となるよう、身体を鍛え、教養を深め、心を磨き、豊かな学生生活をおくれるよう努力して参ります」と力強く宣誓文を読み上げた後、来賓の滝口茂柴田町長からのご祝辞を頂きました。

式終了後は、式場の外で先輩たちがサークルや研究会などの勧誘を行っており、新入生を歓迎していました。新入生一人一人の大学生活が豊かで充実したものになることを教職員一同、心よりご祈念申し上げます。

〈目次〉

平成28年度入学式を挙行	1
新任者教職員紹介	2～4
しばた100選に選定	5
世界のトヨタ 豊田章男社長 室伏広治博士が来訪 ～被災地アスリート支援～	6
平成28年度 教採塾	7
第10回さくらマラソン ボランティア 学生133名が大会を支える	8
第10回 仙台大学体育施設管理 士認定証授与式	11
学生の活躍	12

学生の活躍や、取り組みなどをご存知でしたら広報室までお寄せください。

Monthly Reportで紹介する他、報道機関にも旬な話題を提供して参ります。

本誌へのご意見・ご質問等がありましたら広報室までご一報ください。

仙台大学 広報室
 直通 0224 - 55 - 1802
 E-Mail kouhou@sendai-u. ac. jp

平成28年度 新任者紹介 (平成28年4月1日付)

教員 10名 事務職員5名 新助手9名 臨時職員9名 計33名のみなさんが着任されました

教員

<p>きくち ひろし 菊地 博 教授 (教職)</p> 	<p>これまで、中学校(英語)をはじめ、養護学校や小学校で勤務してきました。大学で勤務させていただくことになり、大変に光栄に存じます。持てる力を最大限に発揮し、学生一人一人の将来のために、努力してまいります。</p>	<p>なとり えいじ 名取 英二 准教授 (陸上競技)</p> 	<p>陸上競技を通じて仙台大学の良さを内外に発信できるよう、努力したいと思っています。よろしくお願いいたします。</p>
<p>しばら しげき 柴原 茂樹 教授 (解剖学)</p> 	<p>次世代を担う学生諸君に、人体構造の美しさと恒常性維持機構の素晴らしさを伝えたいと思っています。ストレス応答としての生体色素(ヘム、ビリルビン、メラニン)代謝が研究テーマです。どうぞ宜しくお願いします</p>	<p>えぐちち え 江口千恵特別任用講師 (養護教育)</p> 	<p>高校の看護科で解剖生理や精神看護など教えてきました。養護教諭の経験より、看護教育のほうですが、どちらもケア(援助)職です。大切なものは同じです。皆さん。よろしくお願いいたします。</p>
<p>すえなが せいえつ 末永 精悦 教授 (文章表現・教職)</p> 	<p>学生の皆さんの澆刺とした姿を見て、仙台大学の教員になれて良かったとしみじみ思います。社会に出るための礎をしっかりと築きましょう。私もできるだけの努力をする覚悟です。よろしくお願い致します。</p>	<p>たかはし とおる 高橋 徹 講師 (保体教育法)</p> 	<p>この春から体育原理を担当します。体育原理は別名、体育哲学とも呼ばれ、体育やスポーツをテーマに考え・議論する学問分野です。大好きな体育・スポーツについて学生の皆さんと大いに議論していきたいと思ひます。</p>
<p>きのくにひろあき 紀野國宏明准教授 (現代武道学科)</p> 	<p>長い間、警察という社会に生きてきたので大学という環境に慣れるのに苦労しています。でも元気な学生のみなさんに接していると私も元気が湧いてくるようです。これまでの経験を活かし、学生のみなさんの将来の人間形成に少しでも役立つよう尽力していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。</p>	<p>みやざき としかつ 宮崎 利勝 講師 (陸上競技・投擲)</p> 	<p>今年度より体育学科でお世話になります柴田町生まれの宮崎利勝です。仙台大学の一員となれたこと大変嬉しく思います。陸上競技の投てきが専門です。ご指導ご支援をよろしくお願いいたします。</p>
<p>しばたちかこ 柴田千賀子准教授 (幼児教育)</p> 	<p>みなさん、はじめまして。3月まで、お隣の福島県に勤務していました。4月から、桜の美しいこの地で、仙台大学の皆さんとかかわらせていただきますこと大変光栄に思っています。これから、仙台大学に貢献できるように努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>	<p>わたなべ やすのり 渡邊 泰典講師 (水泳・水球)</p> 	<p>伝統あふれる本学で新たな挑戦ができることを大変嬉しく思っております。水を通して研究と実践に取り組み、学生・教職員の皆様とともに学び、喜び、感動し、歩みを進めていきたいと思ひます。宜しくお願い致します。</p>

職員

<p>ひらやま こうき 平山 耕喜さん (入試創職室担当課長)</p> 	<p>(株)七十七銀行から出向して参りました平山耕喜と申します。54歳の新人となりますが、初心に帰って真摯な気持をもって業務に取り組み、一日も早く仙台大学の戦力となるよう頑張ります。上司、同僚の皆様ならびに先生方、どうぞご指導よろしくお願いたします。 (平成28年3月1日付出向)</p>	<p>かとう たくま 加藤 琢磨さん (学生生活室)</p> 	<p>昨年度まで臨時職員として勤務させていただき、4月より学生生活室に配属となりました加藤琢磨です。</p> <p>母校である仙台大学の発展に貢献できるよう努めて参りますので、宜しくお願い致します。</p>
<p>あおた しゆん 青田 駿さん (情報システム室)</p> 	<p>今年度より、事務職員として情報システム室(LC棟)に配属されました青田駿です。</p> <p>LC棟の職員として、仙台大学の発展に貢献できるよう努める所存です。どうぞ宜しくお願い致します。</p>	<p>すずき みお 鈴木 美生さん (事業戦略室)</p> 	<p>今年度から事業戦略室でお世話になります。日本国内のみならず世界で活躍する人材を多く育てられるよう、海外留学・研修の充実や海外提携校の更なる強化に励んでまいります。</p> <p>まずは英語の勉強から頑張ります。よろしくお願いたします。</p>
<p>おがわ あき 小川 亜紀さん (実践機構)</p> 	<p>スポーツ健康科学研究実践機構小川亜紀です。</p> <p>2年前臨時職員として着任しましてから、日々大変お世話になっております。今後も誠心誠意努力して参りますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。</p>		

新助手

<p>きくち はるか 菊地 遥新助手 (運動栄養学科)</p> 	<p>今年度より運動栄養学科の新助手となりました菊地遥と申します。</p> <p>仙台大学で働かせていただけることに感謝し、高い志を持って頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。</p>	<p>ながい だいき 永井 大貴新助手 (バスケットボール)</p> 	<p>今年度より新助手として働かせて頂くことになりました。</p> <p>男子バスケットボール部の強化はもちろん、大学職員として少しでも貢献できるよう、感謝の気持ちを忘れず、頑張っていきたいと思っております。よろしくお願い致します。</p>
<p>やまがみ 山上 はるか新助手 (運動栄養学科)</p> 	<p>今年度より、運動栄養学科の新助手としてお世話になります山上はるかです。</p> <p>何事にも向上心を持ち、日々努力してまいります。ご迷惑をおかけすることもあるかと思っておりますが、ご指導の程よろしくお願い致します。</p>	<p>わたなべ さとし 渡邊 聡司新助手 (実践機構)</p> 	<p>今年度から新助手としてお世話になります。渡邊聡司です。</p> <p>地域の健康づくりをメインに働かせていただきます。謙虚さと積極性を忘れず、大学、地域に貢献できるように務めていこうと思っております。よろしくお願い致します。</p>
<p>やまだ ひろみち 山田 大進新助手 (運動栄養学科)</p> 	<p>今年度より、運動栄養学科の新助手としてお世話になります山田大進と申します。</p> <p>仙台大学の発展に貢献できるよう精進して参ります。よろしくお願い致します。</p>	<p>ささきたくま 佐々木琢磨新助手 (陸上競技)</p> 	<p>本年度より、新助手としてお世話になります佐々木琢磨です。</p> <p>基本的に陸上競技の練習に専念しますが、社会人としての自覚を持ちながら積極的に行動していきたいと思っております。宜しくお願い致します。</p>

新助手

はやし けいた
林 啓太新助手
(男子サッカー)



本年度よりお世話になります。林啓太です。一日も早く環境に慣れ、活躍できるよう精一杯努力していきたいと思っております。

のぐち しょう
野口 翔新助手
(芝生管理)



本年度より、新助手として営繕管理室に勤務させていただきます。野口翔です。
主に第二グラウンドの芝生管理をさせていただきますこととなります。
社会人として、まだまだ未熟ですが、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

おの まさひろ
小野 雅洋新助手
(トレーニングセンター)



本年度よりトレーニングセンターで勤務している小野雅洋です。
これまでの経験を生かし、トレーニングセンターでの活動を通して仙台大学に貢献できるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。

臨時職員

すがわらしょうた
菅原翔太臨時職員
(学生支援室)



今年度から学生支援室で働くことになりました菅原翔太です。学生の生活がより良いものになるようサポートし、自分が感じ、経験したボランティアの素晴らしさを伝えていけたらと思います。よろしくお願い致します。

よこやまきょうこ
横山鏡子臨時職員
(LC棟)



LC棟での日々は新たな挑戦の毎日です。全くのアナログ人間が、デジタルネイティブにどうついていけるのか、頑張るのみです。皆様、どうぞよろしくお願い致します。

すずきゆうた
鈴木雄太臨時職員
(学生支援室)



今年度から学生支援センターで臨時職員として勤めることに鈴木雄太です。職員として学校の為に努めさせていただきます。よろしくお願い致します。

おおたちあき
太田千秋臨時職員
(LC棟)



この度、臨時職員としてLC棟で働かせていただく事になりました。太田千秋です。不慣れではありますが、一生懸命頑張りますのでご指導の程よろしくお願い致します。

わたなべよしき
渡部良希臨時職員
(学生支援室)



今年度から臨時職員として学生支援室で働かせていただく渡部良希です。感謝の気持ちを忘れず、積極的に職務に励んでいきたいと思っております。ご指導よろしくお願い致します。

おの ゆい
小野結衣臨時職員
(LC棟)



今年度よりLC棟の教職員向け一時預かり保育室でお世話になる事となりました。子どもたちと過ごす時間が多くなるとは思いますが、ご迷惑をおかけしないよう、自分の役目をしっかり果たしたいと思っております。宜しくお願い致します。

めぐるしょうた
目黒翔太臨時職員
(実践機構)



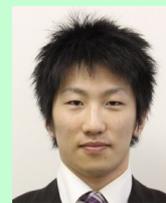
今年度よりスポーツ健康科学研究実践機構でお世話になります、臨時職員の目黒です。仙台大学学生のころに身につけました、スポーツ情報戦略の知識を生かして頑張っております。よろしくお願い致します。

あわかしゆん
阿波加駿臨時職員
(学生支援室)



今年度から学生支援室で働かせていただきます、阿波加 駿と申します。将来の目標のために、何事にも全力で取り組んでいきたいと思っております。ご指導の程、宜しくお願い致します。

すが おきひろ
菅 陽大臨時職員
(実践機構)



4月1日付でスポーツ健康科学研究実践機構に着任いたしました菅 陽大と申します。実践機構の仕事は未経験のため至らないこともあるかと存じますが、一日も早くお役に立てるよう努めてまいります。
ご迷惑をおかけしないよう精進いたしますので、前任者同様にご指導賜りますようお願い申し上げます。

平成28年度から事務局組織の名称が一部変更になりました

旧名称	新名称 (H28.4.1~)
G Tセンター統括課	G Tセンター統括室
スポーツ健康科学研究実践機構事務課	スポーツ健康科学研究実践機構事務室
教職支援課	教職支援室
庶務課	総務室
予算管理課	予算管理室
会計課	会計事務室
教務課	教育企画室
学生課	学生生活室
管理課	営繕管理室
情報システム課	情報システム室
図書館課	図書館事務室
健康管理課	健康管理室

仙台大学事務局業務につきましては、大学運営の「車の両輪」の一として、ゼネラリスト&スペシャリストという考え方を前提に定期的に担当組織をローテーションしており、今年度につきましては4月1日付で大幅な人事異動が行われました。

また、事務局組織各名称につきましても、すべての事務組織が「～室」に統一され、左表のとおり変更になりましたので、改めてご紹介いたします。

なお、事業戦略室、入試創職室、学生支援室、大学院事務室、広報室の名称はそのまま継続します。

仙台大学が「しばた100選」に認定



この度、仙台大学が柴田町から「しばた100選」の認定を受け、認定証が授与されました。

この「しばた100選」は、柴田町が町制施行60周年を迎えるにあたっての記念事業としてスタート。柴田町に「伝えたい・残したい・自慢したい・しばたの宝物」をテーマに町内外から募集が行われ、855点もの応募の中から本学が100選の中に選定されたものです。

本学としては、今回の選定は大変光栄なことであり、今後も柴田町にとって、なくてはならない大学であり続けたいと考えています。



ゆずのマークが入った「しばた100選認定証」としばた100選の冊子とともに、のほりも贈呈されました

76. 仙台大学

大学生のパワーはしばたの宝!



スポーツに特化しており、多くの有名アスリートを輩出し続けています。

高齢化社会とされていますが、柴田町は多くの若者が行き交います。仙台大学は様々なイベントへの参加協力など、まちの光と、パワーになっています。



東北こども博の様子



健康カフェなど、様々なイベントを開催

世界のトヨタ 豊田章男社長・室伏広治博士来訪 ～ 被災地のアスリート支援 ～



写真左からトヨタ自動車㈱豊田章男社長、室伏広治博士、加藤由希子（平成28年3月健康福祉学科卒・SMBC日興証券㈱所属）

4月7日（木）あいにくの雨にも関わらず、トヨタ自動車株式会社・代表取締役社長である豊田章男氏と、2004年に開催されたアテネオリンピック陸上競技ハンマー投げの金メダリストである室伏広治博士が本学を訪れました。今回は2020年に開かれる東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げようという目的で、豊田氏は「経団連オリンピック・パラリンピック等推進委員会委員長」、室伏博士は「東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会スポーツディレクター」として来学。生まれつき左ひじから先がなく、パラリンピックにやり投げで出場を狙う加藤由希子選手（平成28年3月仙台大学健康福祉学科卒業：4月よりSMBC日興証券株式会社勤務）を激励し、同様に生まれつき聴覚に障がいがあり、2015年日本聴覚障害者大会で100m、10秒88の日本記録を樹立した佐々木琢磨新助手（平成28年3月仙台大学体育学科卒業：4月より新助手として本学に勤務）、陸上競技部の学生らと共に競技を続けるうえでの工夫やトレーニングに関するアドバイスを行うなど、親しく交流を図りました。

経団連は、企業のトップらが自らスポーツの現場に足を運ぶことでオリンピックの情報発信や具体的な支援を強化しようとしており、今回がその第一弾、東日本大震災からの復興を応援したいという願いを込め、最初の訪問地として東北が選ばれたそうです。

経団連、トヨタ自動車株式会社、東北こども博でお世話になっているトヨタ自動車東日本株式会社、加藤選手の勤務先であるSMBC日興証券株式会社、宮城県庁、石巻体育協会関係者ら約100名が来学し、歓声があふれるなか予定を15分ほど延長して熱心な指導・活発な意見交換がなされました。

到着した豊田委員長と室伏ディレクターを先ごろオープンしたばかりのLC棟で朴澤泰治理事長・学事顧問、阿部芳吉学長、柴田町の滝口町長他、学内外関係者約100名が迎え、最初に朴澤理事長・学事顧問が2012年お台場で開かれた東京おもちゃショーに「振動を利用した発電の研究」（担当：吉井秀邦講師）を出展した際、視察にいらした豊田社長へ本学職員である千葉コンサルタントが説明したことを写真と共に紹介すると、豊田社長は、出迎えた千葉コンサルタントに向かって、あの節はお世話になりましたとおっしゃりながら、ご自身の見学風景を懐かしげにご覧になりました。また、これらは本学のオリンピック関係者の真と共にオリジナルのアルバムとして豊田社長に来学記念にお贈りしました。

次に、豊田委員長と室伏ディレクターのたっのご希望により、東日本大震災で亡くなった3名の学生などを祀る慰霊碑を訪れ、おごそかに献花下さいました。

晴天であれば加藤選手が陸上競技場でやり投げをする予定でしたが、あいにくの大雨につき、第三体育館でメディンボール投げ、ベンチプレスなどのウエイトトレーニングを行う様子を見学。

その後、佐々木琢磨新助手や陸上競技部の学生達と競技力を高めるための工夫、スランプに陥った時にどのように克服するかなど、メンタル面も含めてさまざまな経験談が披露されると共に、アドバイスがなされました。



室伏広治博士からメディンボールを使って投げの動作の直接指導をうける加藤由希子（平成28年3月健康福祉学科卒・SMBC日興証券㈱所属）

室伏ディレクターは、加藤選手が本来は砲丸投げの選手なのにパラリンピックに砲丸投げがないため、やり投げで出場を狙うしかない現状について「さまざまな種目の競技に取り組むのは全体の競技力をあげるためとても良いことなので、やり投げでは通用しないと思わず自信をもってチャレンジしてください。被災地から加藤さんのようなヒロインが誕生することが、何より地元を元気にします」と話され、豊田委員長は「現場に足を運ぶ意味はまさにこのように実際のアスリートに会い、直接話をするにあり、今日は大変ありがたい機会をいただきました。経団連として、例えば企業が加藤さんに役立つ義手などのモノを提供することにより、競技者の支援につながる可能性があり、今後どのような形でアスリートを応援していくか、検討していきたいです」とおっしゃいました。

和やかな写真撮影・色紙へのサインの後、朴澤理事長・学事顧問は「このように遠方までお越しいただきお礼申し上げます。今後とも学生や子ども博などへのご支援をいただければ大変ありがたく、よろしくお願い致します」と挨拶され、豊田委員長と室伏ディレクターは会場の拍手に送られて次の被災地である石巻に出発されました。

加藤選手は「豊田委員長や室伏ディレクターという世界的にも著名な方々にお目にかかれ大変緊張しましたが、気さくに話しかけて下さり、下半身特に腰に負担をかけず、脚の筋肉を効果的に使う方法を教えていただいたので、早速実践したいと思います。やり投げでパラリンピックに出場することが被災地への恩返しになると考え、残り少ない時間ではありますが精一杯練習に打ち込みます」と感想を述べました。



滝口茂町長（前列写真左）にも加わっていただき最後に関係者全員が笑顔で記念撮影

平成28年度「教採塾」開講式



4月13日にB204教室において「平成28年度 教採塾開講式」が行われ、約130名の学生が参加しました。

開講式で阿部芳吉学長は「現在、宮城県に於ける小学校の教員採用の間口は広がっている。教員採用試験で合格するために大切なことは、基礎的な問題をコツコツやり続けること。興味のある分野からでも良いので過去問題に取

り組み、最終的には過去問題集1冊全ての問題を解くことが大切」。また、本学の現役学生がなかなか採用試験に合格できない理由として「実技試験の対策が不十分であること」を挙げ、開講式終了後には阿部学長自らが実技試験で美しく見せるコツ等を学生に対して伝授しました。

この教採塾は毎週水曜日の5時限目に開講され、毎週土曜日には本学のOBにまで対象を広げ、外部講師による教員採用試験対策講座が行われることになっています。



マット運動で「美しく見えるコツ」を学生たちに伝授する阿部学長

阿部学長が 仙台キワニスクラブで講演「いじめについて考える」



4月14日(木)、仙台キワニスクラブの招きにより、阿部芳吉学長は国際ホテルにて「いじめについて考える」と題した講演を行い、30名もの会員の方々が熱心に耳を傾けました。

キワニスクラブは、全世界85ヶ国の主要都市に7千400クラブ、約20万人の会員を有する奉仕団体で、ライオンズクラブ・ロータリークラブ同様、さまざまな慈善事業に力を入れています。

5年前の東日本大震災でもいち早く支援の輪が広がり、全世界から仙台を初めとする被災地に5000万円以上の寄付が集まりました。同クラブは活動の一環として毎月2回講師を迎え講演会を開催しており、例会委員長で産経新聞東北総局長である白濱正三氏が過日、本学に建設されたばかりのLC棟を取材に訪れたご縁などもあり、今回、阿部学長へのご依頼となりました。

最初に阿部学長は、仙台市内の中学校が1番荒れていた約30年前、赴任先の中学校で実際に生

徒が着ていた暴走族の衣装を広げて見せ「みなさん、これが何だかわかりますか?」と問いかけました。

真っ黒な学ランに「天下無敵」の文字が大きく刺繍された衣裳は、当時の中学校は生徒たちが叩き壊すため、体育館の窓ガラスが相当数なかったというエピソードを示す格好の証です。初めて間近にその頃の暴走族の片鱗を目にした方々は、食い入るように見つめ、阿部学長をはじめとする先生方が体を張って中学生の心を開こうと夜な夜な中学校に泊まりこみ、いかに彼らと腹を割って語りあったかという苦労談に聴き入りました。

生徒が暴れるには何か必ず原因があるのだから、それを責めてはいけない。たわいもない話をしながらこどもの言うことを聞いてあげるのが大切。そうするうちに段々と、“先生、大変だよな〜”と言ひ、生徒が自分たちで学校の見回りをしてくれるようになったそうです。

学校単体ではなく地域の方々と一緒になってこどもを非行から立ち直らせるための地道な努力をすることにより初めて学ぶ楽しさに気が付き、高校に進学したり、大学まで全うする生徒が出てきたとのことでした。

立派な社会人となり、第一線で活躍するようになった彼らはいまでも実に楽しげに阿部学長のもとを訪ねてきます。「心の担任」になることが大切という締めくくりに一同深く頷き、会場は大きな拍手に包まれました。会員の方々は「阿部先生の実体験に基づく話にひきこまれました」「心の担任という意味深さに感動し、もっと続きを聞きたかったです」と口々におっしゃっていました。

第10回さくらマラソン 学生133名がボランティアで大会を支える

4月23日(土)第10回さくらマラソンが柴田町白石川左岸河川敷を会場に行われました。

本学からは、学友会、柔道部、男・女バスケットボール部、硬式野球部から133名もの学生たちがボランティアとして大会運営スタッフに加わり大会をサポートしました。

当日はあいにくの曇り空でしたが、マラソンをするには丁度良い天候だったようで、北は北海道、南は長崎県まで全国のランナーが柴田の地で健脚を競いました。

(報告：学生生活室 平井孝秀)



春の交通安全運動 学友会、男・女ハンドボール部が参加



総勢約40名が参加し、ポケットティッシュやチラシを配りながら駅前を歩く町民の方々に交通安全を呼びかけていました。

本学では毎年春と秋に行われている全国交通安全運動期間に合せたイベントに参加し、地域の方々と共に交通安全を呼びかけています。また、4月・9月の授業開始合わせ大学近隣の交差点などに教職員が立ち、学生の交通マナーアップ運動も行っています。

(報告：学生生活室 平井孝秀)



地域のみなさんに挨拶をしながら交通安全ティッシュを配る学生たち

4月6日から春の交通安全運動が全国一斉にスタートしたことを受け、「春の交通安全県民総ぐるみ運動」交通事故防止街頭キャンペーンが6日朝、船岡駅前を中心に行われました。

本学の学友会学生6名・男女ハンドボール部員21名を含め、柴田町、大河原警察署、柴田町交通安全協会など計6団体から

「新入留学生歓迎お花見会」を今年も開催



で不慣れな環境ですが、学生・教職員と親しく話中で不安が薄れ、日本の文化を味わうひとときとなりました。

(報告：学生支援センター 村松 敦大)

4月8日(金)に船岡城址公園にて「新入留学生歓迎お花見会」が開催されました。この会は留学生と教職員、学生との交流を目的に桜が満開の時期に毎年開催されており、今年は開花が早く例年以上に美しい桜を愛でることが出来ました。

新年度が始まったばかりの忙しい時期であるにもかかわらず、留学生、教職員、ボランティア学生等、総勢51名の関係者が参加し、留学生たちは会話や食事で盛り上がり寒さを感じさせない賑わいを見せていました。

会では、留学生の一人ひとりが自己紹介を行い、日本での目標を述べてもらいました。

新入留学生たちにとっては、初めての日本



米国ハワイ大学マノア校教育学部のホームページに本学が掲載

Delegation of Sendai University faculty and students visits the COE for the 22nd time



Sendai University students excited to begin their week of athletic training classes and workshops

Nine students and five faculty and staff members from [Sendai University](#) visited the department of Kinesiology and Rehabilitation Science (KRS) at the COE for the 22nd time in February 2016. From February 8th to 12th, the students took workshops and observation classes as well as two sessions of English language for health professionals as part of their training towards certification in athletic training.

Sendai University, based in Shibata, Japan was established in 1967 and is the only university specializing in physical education and sports and health sciences in northern Japan. The short-term study tour relationship between Sendai University and KRS is more than a decade old, although they recently entered into a formal relationship with the signing of a Memorandum of Understanding in September 2014. Both partners are committed to exploring, extending, and enhancing their collaborative efforts, particularly to strengthen future interactions between faculty, staff, and students.



The Learning Commons at Sendai University features 3 large screens broadcasting sports events and news



With Head Athletic Trainer Eric Okasaki in the Saake Athletic Training Room

With the newly constructed Learning Commons at Sendai University, KRS hopes to bring the first group of UH

Mānoa KRS students there in the near future. The building was envisioned precisely to bring visitors from both inside and outside of Japan. In the meantime, KRS is getting ready for their four-month distance learning course in athletic training, designed to prepare Sendai University students for their visit to the U.S.

< 概 訳 >

仙台大学学生達一行がUHにおける22回目のAT研修を実施

2016年2月8日～12日まで、仙台大学から9名の学生達と5名の教職員がハワイ大学マノア校教育学部（COE）のキネシオロジー&リハビリテーションサイエンス学科（KRS）を訪れ、今回で22回目となる研修のなかで、アスレティックトレーニングに関するワークショップ、講義、英会話などを学びました。

日本の宮城県柴田郡にある仙台大学は、1967年に創立された北海道・東北地区で唯一の体育大学です。仙台大学とCOE・KRSは2014年、正式な大学間の基本合意書に調印を交わしましたがその友好の歴史は長く、教職員並びに学生の交流を通し、両者における相互協力の内容を開発、発展させ、さらに強固にすることに同意しています。

KRSは、仙台大学に新たに建設されたラーニングcommons（LC棟）に近い将来、ハワイ大学で初めてKRSの学生達が訪れるよう期待すると共に、従来のアウトリーチカレッジに替わり、今年度仙台大学に「遠隔授業・前期」の提供及び仙台大学の学生達が同大学で実施する研修も担当するなど、両者の連携はますます深まっています。

中京大学前学長 北川薫学事顧問の退官を祝う会が開催される



2016年4月16日 北川薫先生 定年記念祝賀会 於：名古屋観光ホテル

文部科学省大学設置分科会体育学専門委員、一般社団法人全国体育スポーツ系大学協議会（旧：体育大学協議会）メンバーその他、斯界の泰斗として日本の体育・スポーツ科学界に多大な足跡を残していらっしゃるのと同時に、仙台大学とも小室希研究員（スケルトン競技）のトレーニング機器探索の仲介その他、さまざまな形で関わりご指導いただいた中京大学前学長である北川薫学事顧問の退官を祝う会が4月16日、名古屋観光ホテルで開催されました。

本学より北川学事顧問と大学同窓で永きに渡り親交のある朴澤泰治理事長・学事顧問が出席し、大学体育連合会長安西祐一郎氏、日体協会会長張富士夫氏、全日本ボウリング協会会長武部勤氏をはじめ政財界の名だたる方々を發起人として、約220名が参会し、北川学事顧問のご功績を称えました。会場

には、先日、経団連のオリパラ推進行事で仙台大学を来訪した室伏広治博士も顔を見せておりました。

武部会長は「ボウリングがオリンピック競技に選ばれなかったことは残念ですが、北川先生がいずれ全日本ボウリング協会会長になり、盛り立ててくれるでしょう」と挨拶し、梅村総長が「北川先生のおかげで大学経営がうまくいきました」と感謝の言葉を述べました。

北川学事顧問は「皆様のご指導により好きなスポーツ分野の研究と実践に打ち込むことができました。これからも日本人の元気の見本となるよう心がけていきます」と挨拶し、日本の体育・スポーツ科学教育にかける熱意を示されました。



写真左から：びわこ成蹊スポーツ大学新宅幸憲教授、大阪体育大学岩上安孝学長、北川薫中京大学学事顧問ご令室、北川薫中京大学学事顧問、朴澤理事長・学事顧問

第10回 仙台大学体育施設管理士認定証授与式



平成28年4月19日（火）A棟2F大会議室において、第10回仙台大学体育施設管理士認定証授与式が行われ、合格者36名に認定証が授与されました。

体育施設管理士は体育施設の維持管理、運営に必要な知識・技能を認定する資格で、資格に必要な科目を本学において修得し、公益財団法人日本体育施設協会による資格認定試験に合格した者に「体育施設管理士認定証」が授与されます。本学は同協会体育施設管理士認定校となって今年で10年になりました。

阿部学長からは、「2020東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、何らかの形で体育施設管理士資格取得を通して学んだことが活かされることでしょうか。学んだことを糧に活躍してほしい。」と話され、一人一人に認定証が授与されました。

参照：公益財団法人 日本体育施設協会

<http://www.jp-taiikushisetsu.or.jp/guidance.html>

お花見レガッタが開催

3月27日～28日に「お花見レガッタ」が埼玉県戸田で開催され、本学漕艇部からは男子エイトと女子ダブルスカルが参加しました。

男子エイトは予選で、昨年2位の明治安田生命と、インカレ5位の慶應大学と同組となりましたが、下馬評を覆し1位で予選通過。決勝ではスタートから本学・NTT・日本大との競い合いとなり、中盤から僅かに日本大学とNTTに先行を許し、残り150mから猛然と追い込んだもののNTTに0.3秒及ばず3位で銅メダルを獲得しました。

女子ダブルスカルは予選・準決勝ではトップタイムを記録し勢いに乗ったものの、決勝では他クルーもスタートから積極的なレース展開。東北大とトヨタが僅かに先行し、本学と筑波大学が最後まで競った

レースとなりましたが、惜しくも0.5秒差で4位入賞となりました。

この大会は東京地方の桜が咲き始めるこの季節に毎年開催されています。社会人選手も数多く参加するため、シーズンの皮切りとなる大切な初戦です。

漕艇部の今後の活躍に期待しましょう。



仙台市内の小学校から本学学生へ感謝の電話



4月27日（水）仙台市内の小学校の校長先生より、郡山教授を通じて本学学生が行った行動に感謝のお電話がありました。

電話の内容は、朝の登校時間に高校生の自転車（誤）が小学生に接触する事故があり、たまたま通りがかった本学現代武道学科3年の葛西智奈さんが目撃したため、初期対応と警察の現場検証にも立ち会い、小学生の保護者と高校生の保護者が現場に駆けつける中、最後までしっかりと付き添い対応をしてくれたことに感謝しますというお褒めの言葉でした。

自転車との事故については大事故には至らず、小学生の怪我も軽傷だったようで、まずは安心ですが、本学学生の見て見ぬふりをしない自らの行動に敬意を表したいと思います。



葛西智奈さん（現代武道学科3年）

2年生の時に履修した「応用武道実技Ⅱ（田中智仁准教授）」で覚えたことが今回役立ったと感じています。

授業では、110番通報に至るまでの事故現場のシュミレーションを行っていたことから冷静に対応することが出来ました。

110番をして、警察の方に事故現場の目印になる場所を伝え、警察車両の到着を待つ間、近隣のご父兄に声をかけ小学校の担任の先生を呼んでいただき、高校生には、保護者と自分の高校にも携帯電話で現在の様子を伝えるようにと話しました。

また、混乱の中なので、痛みをすぐに感じられない状況も予測し、高校生と小学生にそれぞれ頭を打ったり怪我をしていないか、痛いところはないかなどを声掛けしました。今回小学校の校長先生からお電話あったことを聞き、微力ながらお役に立てたことを嬉しく感じます。何より授業で習ったからこそできた行動だと強く感じ、大学卒業後は警察官になるという目標に向かってさらに学んでいきたいと思っています。